

新規受入セットのご紹介(YA 高校読書会向け) 平成 25 年版

YA3 社会の問題

YA3-2 心のおくりびと 東日本大震災復元納棺師

今西乃子著 金の星社 2011(平成 23)年 157p

復元納棺師・笹原留似子さんは、東日本大震災被災地 に入り、ボランティアで三百体以上のご遺体を復元し た。津波による遺体の損傷はひどく、遺族の悲しみをさ らに大きくすることに胸を痛めこの活動を始めた。亡くな った方と家族との思い出をつなぐ笹原さんの活動を通し て生と死、命を考えさせられるドキュメンタリー。児童書 ならではの分かりやすい内容。

YAF 小説

YAF-10 舟を編む

三浦しをん著 光文社 2011(平成23)年 201p

辞書編集部に異動した馬締は新しく出版される辞書「大渡海」の編纂を始める。「言葉の海を渡るにふさわしい舟を編む」という使命のもと、個性的な仲間たちとともに言葉の海にどっぷり浸かる毎日を送ることに…。辞書の編纂という作業を描きながらも、それぞれの人生模様も編みこまれている感動の小説。本屋大賞(2012年)受賞作品。

YAF-11 八月の光

朽木祥著 偕成社 2012(平成 24)年 145p

ヒロシマ原爆投下のあとを生き抜いた 10 代の若者たちは、生き残った哀しみを記憶することで生きる力を得ようとする。あの朝、ヒロシマでは一瞬で七万の人びとの

命が奪われた。二十万の死があれば二十万の物語があり、残された人びとにはそれ以上の物語がある。なぜわたしは生かされたのか。語り継いでいかなくてはならない魂の救済の物語三編。

YAF-12 幸せの条件

誉田哲也著 中央公論新社 2012(平成 24)年 384p 次世代エネルギー・バイオエタノール用の米を作ってくれる農家を探せという社長の命令で、長野県の農村に単身送り出されたOLの梢恵。知識も経験もゼロだった梢恵が、体を張って一から農業に取り組む中でさまざまな問題に悩まされ、現実を思い知る。梢恵がたどりつく幸せの条件とは…。この時代だからこその生き方を考える小説。

YAF-13 希望の地図 3.11 から始まる物語 重松清著 幻冬舎 2012(平成24)年 231p

不登校の中学生光司が、父親の知り合いであるフリーライター田村の被災地取材に同行することに…。二人は、そこでどんな人に出会い、どんな涙を流し、どんな新たな幸福への道すじを見つけたのか。「希望」だけでも「絶望」だけでも語れない被災地の現実と、未来に向けて私たちがふみ出すべき一歩を描いた渾身のドキュメント・ノベル。

